

家族で楽しめる Maker ムーブメントのお祭り、いよいよチケット発売開始！

「Maker Faire Tokyo 2013」注目の出展者発表

最新 3D 技術からメカニカルスーツまで、約 300 組の Maker がお台場を集結

コンピューター技術者向けの専門書などを発行する出版社の株式会社オライリー・ジャパン（本社：東京都新宿区／代表取締役：John Moore）は、2013年11月3日（日）、4日（月・祝）の2日間、お台場の日本科学未来館とタイム 24 ビルにて開催する Maker Faire Tokyo 2013 の注目の出展者を発表し、チケットの発売を開始しました。

オライリー・ジャパンは、雑誌「Make」日本語版の読者を中心に、2008年からエレクトロニクス（電子工作）、DIY、サイエンス、ロボット、アートなど異なるジャンルの「Maker」（作り手）たちの発表の場、交流の場である「Make: Tokyo Meeting」（MTM）を開催してまいりました。その Make:Tokyo Meeting を規模拡大しリニューアルして2012年12月に開催された「Maker Faire Tokyo 2012」は、240組の出展者、9,100名の来場者を迎え盛況裡に終了しました。

Maker Faire Tokyo 2013 にはテクノロジーを自由な発想で使いこなす「Maker」たちが約 300 組集い、ロボットや最新の 3D プリンター、レーザーカッター等のパーソナルファブ리케이션技術から、自作楽器、クラフト、リユース等幅広い展示、実演を行います。また、実際に手を動かしてモノを作れるワークショップも多数開催を予定しています。**プレゼンテーションでは、3D CAD 大手 Autodesk 社の CEO Carl Bass 氏や、littleBits の founder 兼 CEO であり、Open Source Hardware ムーブメント中心人物の一人でもある、Ayah Bdeir 氏による発表を予定しています。**

Maker Faire Tokyo は、様々な角度から国内外の最新技術に触れられる貴重な機会を提供するとともに、モノを作ることの未来を提示して参ります。

■実施概要

- ・名称：Maker Faire Tokyo 2013（略称：MFT2013）
- ・日時：2013年11月3日（日）12:00～17:00、4日（月・祝）10:00～17:00
- ・会場：日本科学未来館（<http://www.miraikan.jst.go.jp/>） 東京都江東区青海 2-3-6
タイム 24 ビル（<http://www.tokyo-bigsight.co.jp/time/>） 東京都江東区青海 2-4-32
- ・入場料：前売：大人 1,000 円、18 歳以下 500 円
当日：大人 1,500 円、18 歳以下 700 円
チケットは e+にて好評発売中！詳細は、<http://makezine.jp/event/mft2013> に。
- ・出展者数：約 300 組
- ・主催：株式会社オライリー・ジャパン
- ・共催：日本科学未来館、臨海副都心まちづくり協議会、東京臨海副都心グループ、ほか
- ・URL：<http://makezine.jp/event/mft2013>（出展者、協賛募集情報を含む最新情報を随時ご案内する予定です）

■お問い合わせ先 株式会社オライリー・ジャパン 担当：鹿野（pr@makejapan.org）
〒160-0002 東京都新宿区坂町 26-27 インテリジェントプラザビル 1F
TEL: 03-3356-5227 FAX: 03-3356-5261

■ Make: Tokyo Meeting (MTM) /Maker Faire Tokyo (MFT) 来場者推移

| | | | |
|---------|-------------|------------|----------------|
| MTM 01 | (2008年 4月) | 30組 (出展者) | / 600名 (入場者) |
| MTM 02 | (2008年 11月) | 60組 (出展者) | / 1,200名 (入場者) |
| MTM 03 | (2009年 5月) | 90組 (出展者) | / 2,400名 (入場者) |
| MTM 04 | (2009年 11月) | 140組 (出展者) | / 4,000名 (入場者) |
| MTM 05 | (2010年 5月) | 200組 (出展者) | / 7,200名 (入場者) |
| MTM 06 | (2010年 11月) | 210組 (出展者) | / 8,000名 (入場者) |
| MTM 07 | (2011年 11月) | 260組 (出展者) | /12,000名 (入場者) |
| MFT2013 | (2012年 12月) | 240組 (出展者) | / 9,100名 (入場者) |

2013年8月10日(土)、11日(日)には、山口県山口市の山口情報芸術センター[YCAM]にて Yamaguchi Mini Maker Faire が開催され盛況裡に終了致しました。

■ これまでのメディア掲載実績

The Japan Times (2012.12.5号)「Japanese innovation was alive and well at Maker Faire」/日経 MJ (流通新聞) (2013.1.1号)「イベント活況 個人と企業つなぐ」/Switch (2013年2月号)「テクノロジー+カルチャー ネ申ラボ100」/R25 (2012.12.6号)「ヒットの舞台裏 メイカームーブメント」/@IT「Maker 達のお祭りがやってきた! Maker Faire Tokyo 2012」/週刊ダイヤモンド/ダイヤモンドオンライン/TOKYO MX TV/東京 IT 新聞/デイリーポータルZ/週刊プレイボーイ/「広告」、他多数

■ 取材につきまして

・ 事前取材のアレンジにつきまして

Maker ムーブメントを支える人々、オライリー・ジャパン関係者の取材をアレンジ致します。

pr@makejapan.org までご連絡ください。

・ 事前取材会の開催につきまして

イベント当日は相当な混雑が予想されるため、イベント前日(11/2(土) 18:00-19:30 予定)に注目の出展内容を、メディアの方にゆっくりご取材いただける時間を設けます。

・ 当日の取材につきまして

Maker Faire Tokyo2013 の当日取材を希望されるメディアの方は、事前に以下の URL よりお申込みください。

【事前取材会・当日取材お申込み URL】

<http://makezine.jp/event/mft2013/press-registration/>

事前取材会・当日取材いずれも、お申込メール受領後、折り返しメールにて取材可否ならびに取材詳細についてご連絡致します。

※ イベントの取材について

撮影の際には、それぞれの出展者の許諾を得てからとしてください。

プライバシーにご配慮いただき、出展者、来場者が気持ちよくイベントに参加できるようにご協力をお願いいたします。



参考資料① 注目の出展者紹介

メカニカルスーツ、3D 写真撮影ブース、電子手芸、リユースまで「つくる」の最先端がここに



プロジェクトスケルトニクス/チームスケルトニクス

「人間以外の動力を利用しない」「四肢の動きを2倍程度に拡大する」というコンセプトの人が搭乗して操作する外骨格（メカニカルスーツ）を制作しています。技術的には可能でも、法整備や企業内部の事情により、普及に至っていないものがたくさんあります。私たちは少人数の技術者集団で、実際に動くプロトタイプを製作し、社会に有用な技術を提示できる存在を目指しています。



オートデスクのクリエイティブ体験スペース/Autodesk

「123Dシリーズ」のクリエイティブ・アプリを使って、iPadで3Dデータを手軽に作ってみたり、昨年大好評だった組立て模型のワークショップで、自らの手でモノを作る楽しさを感じてみたり。そして何と言っても今回のメインは、あなた自身を3Dにしてくれる「3D Photoブース」！そのリアルさは実際に見ないと分かりません！お子さんからMakerの方まで楽しんでもらえるように準備していますので、当日はぜひオートデスクのスペースへ！



廉価版筋電義手/Handie

Handieは廉価版の筋電義手です。筋電義手は、手指のない方が残された筋肉の電気信号を介して操作できる義手です。筋電義手は世界中で開発されていますが、そのほとんどは400万円以上と大変高価なものしかありません。私たちは、少ないモータでも十分な機能を備える機構を考えたり、これまで専用端末で行われてきた情報処理をスマホ一台で行うなどの工夫により、安価な筋電義手の実現を目指しています。



「展開図武道会〜この椅子いっすね！」/IAMASイノベーション工房 [f.Labo]

「展開図武道会〜この椅子いっすね！」は、限られた条件でツールを制作し、プロダクトとしての完成度を競うコンテストです。展開図とは、デジタル工作機械があれば再現できる設計データのこと。それを元に木材をレーザー加工機でカットしたり、3Dプリンターでプリントしたりして、実際に座れるツールを作ります。展開図とその結果をシェアすることで、ものづくりの楽しさを広げ、コミュニティを形成することが目的です。



電子部品アクセサリ- "さのもの" / さのもの

"さのもの"のアクセサリは全て電子部品を素材にしています。基板、コンデンサ、ダイオード、LED、抵抗など今まで部品としてしか見ていなかったものが、実はとてもチャームングだったので！電子部品のアップサイクルで、他にはないギーク&キュートなアクセサリになっています。



FUKUSHIMA Wheel/FUKUSHIMA Wheel

FUKUSHIMA Wheel は、サステナブルなレンタルバイクプラットフォームです。自転車に取り付けられた各種環境センサーは、都市の環境ビックデータを収集し、クラウドでオープンデータとして公開されます。またスマートフォンはナビゲーションなどのインセンティブを提供し、車輪に装着された LED は位置情報に応じた広告を表示します。東日本大震災、原発事被害に苦しむ福島から、世界を変える一歩を目指します。



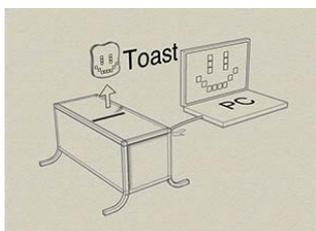
Handcrafted Scope Clocks with Circle Graphics/Oscilloclock.com

Oscilloclock.com のラボでは、昔のオシロスコープに使われていたブラウン管を再利用して、とても珍しい時計を作っています。レトロな技術にモダンな外観を融合させる、全て一点ものです。リサーチ図形を使った特殊な表示方法「サークルグラフィックス」の採用で、美しいなめらかな字体を楽しめます。今回の展示では、最新モデルの発表をし、オシロクロックの制作に関する技術情報を公開します。



クリエイティブリユース/クリエイティブリユース@Tokyo

廃材・廃棄物に新しい価値を発見すること、既に身の回りにあるモノに工夫を加えて活用すること。見捨てられているモノを再び循環させる「クリエイティブリユース」について紹介します。2013年8月、岡山県・玉島に日本初の「クリエイティブリユース」の拠点が開業し、書籍『クリエイティブリユース—廃材と循環するモノ・コト・ヒト』（著：大月ヒロ子他）も出版しました。



Toaster Printer/大網拓真

8x8のドット絵が焼ける食パンプリンターの展示・実演をします。レトロな64ピクセルの柄に焼きあがったパンをぜひご覧ください。ドット絵のデザインデータを持参いただけましたら、その絵をパンに印刷してみようと思います。



プラモデルによる空想具現化/池内啓人

「プラモデルによる空想具現化」をテーマに、パソコンをはじめその周辺機器を舞台に、プラモデル用のジオラマを作ること、誰もが一度は空想するであろう世界を具現化します。改造された機器はその機能を失うことなく使用可能となっています。

参考資料② 注目のプレゼンテーション

3D CADの世界企業のCEO、Open Source Hardwareの第一人者が語る、世界と日本のMakerをつなぐプレゼンテーション

「アメリカのMakerと新しいモノづくりの姿」

Carl Bass (CEO of Autodesk)

11/4(月) 13:00-14:00 (予定)

Autodeskの本社と主要拠点があるサンフランシスコ周辺でMaker Faireが始まったのは2006年でした。講演では、近年の新しいモノづくりの姿を交えながら、アメリカの現在のMakerムーブメントの様子をご紹介します。どんな人がどのような方法でMakeを楽しんでいるか、あるいはビジネスにしているか、そして、今後どんな道をたどってどこへ行きつくのかを考えます。さらに、Carl Bass自身のMaker体験、工房も写真で披露します。

【Profile】3Dデザインソフトなどを提供する米Autodesk社の社長兼CEO。他の企業や教育機関の社外取締役も務める。米コーネル大学卒。



「Open Source Hardware Special Stage (仮)」

Ayah Bdeir (founder and CEO of littleBits)、他

11/3(日) (時間未定)

littleBitsは、モジュール同士をマグネットでスナップする(パチンとつなげる)だけで電子工作を楽しめる、電子モジュールのオープンソース・ライブラリーです。センサー、ボタン、しきい値、モーターなど、それぞれ特定の機能を持っている基板をマグネットでつなげるだけで電子工作の仕組みを学ぶことができます。今回Maker Faire Tokyo 2013では、littleBitsのCEOであるAyah BdeirとそのデザイナーのPaul Rothmanが来日。日本でオープンなもの作りをすすめる電子楽器メーカーKORGとコラボレーションを行います。Makerムーブメントを牽引するAyahによるスピーチ、パネル・ディスカッション、そして日本国内におけるKORG x littleBitsの今後の活動をお届けする予定です。

【Profile】Ayah Bdeir/littleBitsの創業者、CEO。技術的知識や革新はエンジニアのためだけのものではなく、もっと世界中の人々にとって身近であるべきだという想いから、ハードウェアのオープンソース化を中心にそのキャリアと研究を重ねている。

Paul Rothman/デザイナー・アーティスト。電子工学とインタラクティブ・デザイン分野をメインに活躍するMaker。littleBitsとは早くからコラボレーションを行い、現在では製品開発をリードする立場にある。

